



12月うぶやま天文台イベント

ふたご座流星群を見よう



天空が広がるうぶやまの高原には、厳しい北風が吹いています。大変寒いですが、冬は空気が澄み切っていて星空が一番きれいな季節です。

今冬のふたご座流星群は、12月13日の夜から14日の明け方にかけてと、14日夜から15日朝にかけての二夜に渡って観察されます。ただ、今年の場合は、深夜には下弦前の比較的明るい月が昇り、月明かりの影響を受けます。このため、月が高く昇る前の夜半前に観測するとよいでしょう。予報では、極大時刻は22時ころで、日本で条件良く観察できます。この日は22時前に月が昇ってきますので、月が高く昇る前の21時頃から真夜中0時頃が観測に適した時間帯となります。このとき、空の暗いところでは1時間当たり40～50個と予想されています。真夜中を過ぎてくると月明かりの影響で、1時間当たり30個程度になるでしょう。また、極大前日の13日夜から14日明け方は、一夜を通して、空の暗いところでは1時間当たり15個程度見られるでしょう。流星は、放射点付近だけでなく、どの方向にも見られますので、なるべく開けたところで広い範囲を見渡すと良いでしょう。観察される方はレジャーシートや椅子を用意したり、また大変寒いので寝袋等の防寒対策を十分して風邪などひかないようにしましょう。

また、14日の20時頃から夜半にかけて明るい火球クラスの流星も見えるそうですので、この時間帯も観察会を開きます。天文台内でも観察を行いますので当日は開台しています。天文台に入館されない方は無料です。

期 日①	:	令和4年12月13日(火)～14日(水)
期 日②	:	令和4年12月14日(水)～15日(木)
時 間	:	20時00分～5時00分(両日とも)
場 所	:	うぶやま天文台 (熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
観察対象	:	ふたご座流星群 他
持 参 物	:	星座早見盤(一般参加者で持ってない人には当日配布します) 防寒着等
料 金	:	村民の方: 全員無料 村外の方: 高校生以上300円 小中学生200円 未就学児無料
	:	※流星群のみの観察の場合は、天文台入館がないため全員無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。天候不良などで実施できない場合は中止します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

ふたご座流星群とは

ふたご座流星群は毎年 12 月 13 日～15 日頃を中心に活動する流星群で、しぶんぎ座流星群、ペルセウス座流星群と並んで年間三大流星群の一つです。放射点がふたご座のβ星カストル付近にあるのでふたご座流星群と呼ばれます。

母天体は普通、彗星なのですが、この流星群の母天体は小惑星ファエトンといわれています。ふたご座流星群の母天体小惑星ファエトンは元々彗星で、彗星の時に何回も回帰し、たくさんのチリを放出

しやせ細り、中心部の岩石だけになって、太陽の重力で捕捉され、小惑星ファエトンとなりました。ファエトンは、彗星だった時代に太陽に近づいて、地球の公転軌道上をかすめて通過し、軌道上に彗星のかけらや氷の固まり、岩石のかけら、チリやホコリなどを大量にばらまいています。地球の公転周期は決まっているので毎年同じ時期に地球が通過すると地球の重力に引かれてそれらのかけらが地球の大気に飛び込んできて、空気の摩擦で燃えて流星となります。流星のほとんどが小さいため大気中で燃え尽きて地表面に到達するものはほとんどありません。

14日をはさんで数日はこの流星群は見られますが、一番多い極大が14日22時頃となります。

